



# くぬぎ通信



2015年2月発行 第296号  
市原第7団BS隊 隊長 小西章夫

2015年2月度テーマ ; はらから

## はらから

我らを結び はらからとし 導き教えし ロード ベーデン-パウエル  
今は天に いたまえども いつのいつまでも 世界の総長  
スカウトソング「世界の総長」の一節です。  
僕たちをボーイスカウトという仲間(はらから=同胞)としてつないでくれて、  
スカウト教育法でより良き青少年になる方法を導き教えてくれたベーデン-  
パウエル卿よ。もうお亡くなりになってしまいましたが、ずっと我々スカウトの  
世界の総長です、という意味です。

ベーデン-パウエル卿(B-P)は、青少年の健全な教育法のために、1907年に  
イギリス南部ブラウンシー島で20人の子どもたちと実験キャンプを行いました。  
(スカウト最初のキャンプといわれています)。翌年B-Pは、「スカウティング フォア  
ボーイズ」(6分冊)を発行しました。この本を読んだ少年たちは、イギリス各地で  
集まり、書かれていたことをまねし始めました。少年たちだけのキャンプなどに  
周囲の大人の理解を得るために、大人についてもらうことにしました。  
元々ボーイスカウトは、B-Pによる活動の「提案」のもと、「子どもたちのグルー  
プによる活動」があり、指導者は世話役として後から加わりました。

グループによる自主活動では、  
「班長を中心に、仲間で色々なことを話し合いながら、みんなで班を運営すること」、  
「新しい仲間には先輩が指導をして、全員が班の中でそれぞれ責任を担いながら  
チームワークを身につけていくこと」が大切です。  
この「子どもたち同士による学びあい」という仕組みが班制教育です。

班長はそれまでの経験や班長訓練で学んだことを、他のスカウトたちに教え  
ます。隊長は班長を通して活動をします。この班制教育のしくみは、現在の  
当隊のように1ヶ班でも同じです。

スカウトの非常に場合にそなえての訓練の際、自信への第一歩として  
何かできる能力を教える。そして、勇気への第一歩として、自信をまず  
もつように教えるのである。

B-P「Scouting and Youth Movements」より

## スカウト諸君へ

### 3月の活動予定

テーマ ; みちはきびしくとも  
活動目標 ; 自ら考え判断し決断する力を養う  
プログラム ; 長距離ハイク  
ソング ; どこまでもゆこう (スカウト歌集P55)

日時	場所	集会	内容	備考
3/		班集会	長距離ハイク準備	別途連絡
3/28,29	大網白里-姉崎	隊集会	房総横断長距離ハイク	前日舎営

## B-P

B-Pが3歳のときに父親(ベーデン(名) パウエル(姓))が亡くなりました。名門大学  
教師であり牧師でもあった父親を称えて、母親は、家族の姓をそれまでのパウエル  
からベーデン-パウエルに変えました。日本でたとえると、「鈴木一郎」家や「マツモト  
キヨシ」家というようなちよっと変わった姓です。Baden-Powellと自書していることから、  
BPでなく、B-Pと表記しています。

スカウトのモットー「そなえよつねに Be Prepared」もB-Pの名前にちなんで自分で  
決めたそうです。

B-P祭はB-Pの誕生日2月22日を記念して行っています。B-P夫人のオレブ(ガールスカウト  
初代総長)の誕生日も2月22日同日です。2月22日は世界友情の日とされています。

B-Pの生涯は、  
スカウトハン  
ドブックP382  
を読もう。



ブラウンシー島キャンプの様子



スカウティング フォア ボーイズ

## 高橋悠介君

バッファロー班高橋君がご自宅の転居に伴ない、当団から転出されることになりました  
転居先の千葉市土気エリアでも立派なボーイスカウト団が活動中です。  
そちらでも、スカウト活動を続けてください。